製品安全データシート(SDS)

製造者情報	会社名	ジェフコム株式会社		
	住所	〒579-8014　東大阪市中石切町3-13-16		
	担当部署	品質管理課		
	電話番号	072-988-3813	FAX番号	072-988-3800
	緊急連絡先	担当部署に同じ	電話番号	担当部署に同じ
	作成・改定	2016/05/26		
製品の特性	製品名 品番	アルミ補修スプレー　SC-NACL-12		
	製品の内容 主な用途	硝化綿ラッカー アルミ用補修塗料		

物質の特性

成分及び含有量(危険有害物質を対象)

化学物質名	CAS No.	含有量wt%	PRTR対象	備考
トルエン	108-88-3	0.31	労安法表示物質　PRTR一種物質	
キシレン	1330-20-7	0.059	労安法表示物質　PRTR一種物質	
エチルベンゼン	100-41-4	0.055	労安法表示物質　PRTR一種物質	
メチルアルコール	67-56-1	5%～10%	労安法表示物質	
イソプロピルアルコール	67-63-0	1%～5%	労安法表示物質	
ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾌﾞﾁﾙｴｰﾃﾙ	111-76-2	1%～5%	労安法表示物質	
メチルイソブチルケトン	108-10-1	5%～10%	労安法表示物質	
酢酸エチル	141-78-6	5%～10%	労安法表示物質	
酢酸ﾌﾞﾁﾙ	123-86-4	0.1%～1%	労安法表示物質	
ニトロセルロース	9004-70-0	5%～10%	労安法表示物質	
DME				高圧ガス・可燃性ガス
液化石油ガス				高圧ガス・可燃性ガス

・元素名と成分名の欄に同一PRTR物質番号がある場合のPRTR計算は、元素名の含有量を用いてください。
・充填比率;原液/噴射剤＝50.0/50.0vol%＝61.0/39.0wt%、NET＝300ml(235.8g)
・噴射剤組成;ジメチルエーテル/液化石油ガス＝65/35wt%

危険有害性の要約
「GHS分類」

可燃性/引火性エアゾール	:区分1
引火性液体	:区分2
急性毒性(吸入:蒸気)	:区分5
皮膚腐食性・刺激性	:区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:区分2
発がん性	:区分2
生殖毒性	:区分1A
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	:区分1(呼吸器、神経、血液、肝臓、腎臓) :区分2 :区分3(麻酔作用)
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	:区分1(呼吸器、神経、肝臓、腎臓) :区分2(造血系、血液)
水生環境急性有害性	:区分2

「GHSラベル要素」

注意喚起語　:危険

危険有害性情報

極めて引火性の高いエアゾール
非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。
吸入すると急性の有害の恐れがある。
有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
皮膚を刺激する恐れがある。
重篤な眼への刺激
発がんの恐れの疑いがある。
生殖能又は胎児への悪影響の恐れがある。
ばく露により臓器の障害がおこる。
長期又は反復ばく露による臓器の障害がおこる。
水生生物に毒性がある。

応急処置	目に入った場合	＊直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。 ＊出来るだけ速く医師の診断を受ける。
	皮膚に付着した場合	＊付着物を布にてすばやく拭き取る。 ＊大量の水及び石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。 溶剤、シンナーは使用しないこと。 ＊外観に変化がみられたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。
	吸入した場合	＊蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受ける。 ＊蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。
	飲み込んだ場合	＊誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。 ＊嘔吐物は飲み込ませない。 ＊医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
火災時の処置	使用可能消火剤	炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
	[消火方法] ＊適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。 ＊可燃性のものを周囲から速やかに取り除く。 ＊指定の消火剤を使用する。 ＊高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。 ＊消火活動は風上から行うこと。 ＊エアゾール製品の場合、高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は距離を十分に取る。	
漏出時の処置	＊作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 ＊漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ＊付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をする。 ＊付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。 ＊着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。 ＊衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。 ＊乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸着させて回収する。大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。河川、排水溝、下水道に排出されないように注意する。 ＊振とうすると内容物が噴出する恐れがあるので注意して取り扱う。	
取り扱い及び保管上の注意	[取り扱い上の注意] ＊換気の良い場所で取り扱う。　＊容器はその都度キャップ（ストッパー）または密栓する。 ＊周辺で火気、スパーク等の発火源となるものや高温物の使用を禁止する。 ＊工業用品は静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。 ＊工具は火花防止型のものを使用する。＊作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。 ＊使用済みウエスは、廃棄するまで水に漬けておく。 ＊40℃以上の所では取り扱わないこと。＊火気のあるところでは取り扱わないこと。 ＊40℃以上に暖めないこと。 ＊エアゾール製品の場合、30秒以上の連続使用をしないこと。（ただし、連続噴射式製品を除く） ＊密閉された場所での作業の場合、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を着用する。 ＊内容物を眼、皮膚に接触させないこと。 ＊炎に向けて使用しないこと。	
	[保管上の注意] ＊日光の直射を避ける。　＊通風の良いところに保管する。 ＊火気、熱源から遠ざけて保管する。　＊温度が40℃以上の所で保管しない。 ＊水回りや高湿度の場所での保管は避ける。 ＊ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。 ＊子供の手の届かないところに保管する。	

爆露防止及び保護措置

［管理濃度及び許容濃度］

物質名	CAS No.	管理濃度ppm	ACGIH(TLV-TWA)ppm
ﾄﾙｴﾝ	108-88-3	50P	50P
ｷｼﾚﾝ	1330-20-7	50P	100P
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	100-41-4		100P
ﾒﾁﾙｱﾙｺｰﾙ	67-56-1	200P	200P
ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ	67-63-0	200P	400P
ｲｿﾌﾞﾁﾙｱﾙｺｰﾙ	78-83-1	50P	50P
ﾌﾞﾁﾙｱﾙｺｰﾙ	71-36-3	25P	
ﾒﾄｷｼﾌﾞﾁﾙｱｾﾃｰﾄ	4435-53-4		
ﾒﾁﾙｲｿﾌﾞﾁﾙｹﾄﾝ	108-10-1	50P	50P
酢酸ｴﾁﾙ	141-78-6	200P	400P
ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾌﾞﾁﾙ	84-74-2		5M
二酸化ﾁﾀﾝ	13463-67-7		
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	1333-86-4		3. 5M
ﾆﾄﾛｾﾙﾛｰｽ	9004-70-0		
DME	115-10-6		
液化石油ガス	68476-85-7		

略記号: P:ppm M:mg/m³ ACGIH:米国産業衛生専門家会議の定める恕限度

［設備対策］

＜共通＞

＊局所排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。

＊取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。

＜工業用品の場合＞

＊取り扱い設備は防爆型を使用する。

＊屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とすること。

＊取り扱い場所の近辺に洗顔及び身体洗浄のための設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

［保護具］

呼吸系の保護具	＊スプレーを行う場合には適切な保護マスクを着用する。 ＊密閉された場所では送気マスクを着用する。
目の保護具	＊保護眼鏡を着用する。
皮膚・身体の保護具	＊有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の保護手袋を着用する。
その他の注意事項	＊着衣が内容物で濡れた場合、直ぐに取り替える。

物理及び化学的性質

［原液］

状態	液体		
色	各色	pH	
臭い	溶剤臭	沸点	
沸点範囲	110.6～144.4℃	融点	
分解温度		密度	0.95g/cm3
発火点		引火点	19℃
蒸気密度		蒸気圧	
爆発特性		その他	

［噴射剤］

状態	液体		
色	無色透明	沸点	
臭い	やや甘み臭	融点	-141.5℃
沸点範囲		密度	0.66g/cm3
分解温度		引火点	
発火点		蒸気圧	0.5MPa(20.8℃)
蒸気密度	1.59kg/m3(空気=1)	その他	
爆発特性			

安定性及び反応性

反応性

条件(温度、光等)

＊エアゾール製品の場合40℃以上になると缶が破裂する恐れがある。

安定性

接触により危険のある物質

＊酸化剤

燃焼等による有害ガス発生

＊不完全燃焼した場合一酸化炭素を発生することがある。

有害性情報

物質名	LD50M	LD50S	皮	眼	呼	変	発	生	単	反	吸	その他
ﾄﾙｴﾝ	4800		2	2B				1A	1 3	1	1	
ｷｼﾚﾝ	4300		2	2A				1B	1 3	1	2	
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	3500		3	2B			2	1B	2 3		1	
ﾒﾁﾙｱﾙｺｰﾙ	1400			2A				1B	1 3	1		
ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ	3437	4059		2A				2	1 3	2	2	
ｲｿﾌﾞﾁﾙｱﾙｺｰﾙ	2596	2523	2	2A					3		2	
ﾌﾞﾁﾙｱﾙｺｰﾙ												
ﾒﾄｷｼﾌﾞﾁﾙｱｾﾃｰﾄ												
ﾒﾁﾙｲｿﾌﾞﾁﾙｹﾄﾝ	2919	3000							3	1	2	
酢酸ｴﾁﾙ				2B					1 3			
ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾌﾞﾁﾙ	6300		3	2B	1			2	1 3	1 2		
二酸化ﾁﾀﾝ				2B					3			
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ							2			1		
ﾆﾄﾛｾﾙﾛｰｽ									3			
DME	658※2											
液化石油ガス	385,940※1											

LD50M：経口（主としてラット）mg/Kg　LD50S：経皮（主としてラビット）mg/Kg
皮：皮膚腐食性・刺激性　眼：眼に対する重篤な損傷・刺激性　呼：呼吸器感作性又は皮膚感作性
変：生殖細胞変異原生　発：発がん性　生：生殖毒性
単：特性臓器・全身毒性―単回暴露　反：特性臓器・全身毒性―反復暴露　吸：吸引呼吸器有害性
※1：LC50（ラット）mg/l（約26%）4hr　※2：LC50（ラット）ppm/30min

[製品に関する有害性情報]
＊製品としての安全性試験は行っていない。

環境影響情報
＊漏洩時及び廃棄等の際には、環境影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

廃棄場の注意
＊容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
＊エアゾール製品の場合は、焼却処理を行わないこと。
＊エアゾール製品の場合は、中身を完全に使い切り、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨てる。中身の入ったものは絶対に廃棄しない。また、ガスを抜く際には、火気及びミストの吸入などについて注意すること。

輸送上の注意

＊共通	:取り扱い及び保管上の注意の項に従う。
	:容器に漏れのないことを確かめ、転落、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
	:運搬に際しては容器を40℃以下に保ち、転落、落下、損傷がないように注意する。
＊陸上運送	:消防法、労安法に定めるところに従う。
＊海上運送	:船舶安全法に定めるところに従う。
＊航空輸送	:エアゾール製品の場合、航空法では輸送できないものになっており注意する。
＊国連番号	:1950

適用法令

＊高圧ガス保安法	:適用除外項目対象
＊消防法	第4類第1石油類
＊危険等級	Ⅱ
＊船舶安全法	:危険物（高圧ガス）
＊航空法	:現在一般に使用されているエアゾール製品は、航空法では輸送できないものになっている。
＊労働安全衛生法	:施行令　危険物（引火性のもの、可燃性のガス） 有規則　第2種有機溶剤

その他
主な引用文献
＊日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」
＊日本塗料工業会編集「MSDS作成ガイドブック」
＊各メーカー製品安全データシート

[注意]危険・有害性の評価は必ずしも充分でないので、取り扱いには十分注意して下さい。